



対象事業

(単位：千円)

事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施主体	関係市町村	計画期間内 の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内 の総事業費	備考
農業集落排水事業		那谷	小松市	小松市	処理施設 1式 管路施設 L=7,200m	H26	50,000	
農業集落排水事業		三木	加賀市	加賀市	処理施設 1式 管路施設 L=3,300m	H26	50,000	
農業集落排水事業		大野	小松市	小松市	処理施設改修 1式	H26	80,000	
農業集落排水事業		和気・寺島	能美市	能美市	処理施設改修 1式	H26	78,000	
農業集落排水事業		竹又	金沢市	金沢市	処理施設改修 1式	H26	30,000	
農業集落排水事業		長柄町	かほく市	かほく市	処理施設改修 1式	H26	72,000	
農業集落排水事業		笠師保	七尾市	七尾市	処理施設改修 1式	H26	50,000	
農業集落排水事業		上野	志賀町	志賀町	処理施設改修 1式	H26	100,000	
農業集落排水事業		本郷第1	輪島市	輪島市	処理施設改修 1式	H26	27,000	
農業集落排水事業		坪野	能美市	能美市	調査設計 1式	H26	2,200	
農業集落排水事業		瑞穂	能登町	能登町	調査設計 1式	H26	3,000	
農業集落排水事業		中能登町	中能登町	中能登町	機能診断 最適構想策定	H26	6,000	
小計 (全体事業費)							548,200	

関連事業

(単位：千円)

事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施主体	関係市町村	計画期間内 の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内 の総事業費	備考
農業集落排水事業		勅使	加賀市	加賀市	管路施設 処理施設 1式	H23	181,200	地域 自主
農業集落排水事業		北袋	金沢市	金沢市	処理施設改修 1式	H23	66,000	地域 自主
農業集落排水事業		宝達志水町	宝達志水町	宝達志水町	機能診断 最適構想策定	H23	8,600	地域 自主
農業集落排水事業		輪島市	輪島市	輪島市	機能診断 最適構想策定	H23	13,000	地域 自主
農業集落排水事業		南大呑	七尾市	七尾市	処理施設改修 1式	H23 ~ H24	71,400	地域 自主
農業集落排水事業		金沢市	金沢市	金沢市	機能診断 最適構想策定	H23 ~ H24	27,500	地域 自主
農業集落排水事業		かほく市	かほく市	かほく市	機能診断 最適構想策定	H23 ~ H24	31,000	地域 自主
農業集落排水事業		能美市	能美市	能美市	機能診断 最適構想策定	H23 ~ H24	17,500	地域 自主
農業集落排水事業		志賀町	志賀町	志賀町	機能診断 最適構想策定	H23 ~ H24	25,534	地域 自主
農業集落排水事業		俵	金沢市	金沢市	処理施設改修 1式	H24	26,600	地域 自主
農業集落排水事業		中沼	かほく市	かほく市	処理施設改修 1式	H24	72,000	地域 自主
農業集落排水事業		倉垣	志賀町	志賀町	処理施設改修 1式	H24	86,000	地域 自主
農業集落排水事業		柳田右岸	能登町	能登町	処理施設改修 1式	H24	113,000	地域 自主
農業集落排水事業		小松市	小松市	小松市	機能診断 最適構想策定	H24	12,000	地域 自主
農業集落排水事業		七尾市	七尾市	七尾市	機能診断 最適構想策定	H24	24,000	地域 自主
農業集落排水事業		能登町	能登町	能登町	機能診断 最適構想策定	H24	23,000	地域 自主
小計 (全体事業費)							798,334	
合計 (全体事業費)							2,070,120	

# 農山漁村地域整備計画評価調書

計画の概要	計画の名称	元気いっぱい石川の農村環境
	計画策定主	石川県
	対象市町村	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、加賀市、羽咋市、かほく市、能美市、川北町、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町
	計画期間	平成22年度～平成26年度(5年間)
	計画の目標	地域の状況に応じた生活排水処理整備を推進する。
	評価指標	市町における生活排水施設整備率 増加
対象事業	農業集落排水事業	
全体事業費	2,070,120 千円	

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	石川県污水適正処理構想エリアマップに位置づけられ、効率的かつ適正な整備手法で選定されている
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	水質を保持・向上させるための目標設定となっている。
整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	本事業を実施することにより、生活排水施設整備率の増加・維持に寄与する。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	事業完了後に整備率の状況が確認できる。
	3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	本事業を実施することにより、生活排水施設整備率の増加・維持に寄与する。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	地域や事業の特性を考慮した調査検討がされており、事業実施可能である。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	施設修繕が年々増加しており、地元の施設更新の要望が強い。
評価結果	評価Ⅰ 事業を実施 評価Ⅱ 計画の見直し	[評価基準] 「評価Ⅰ」は全項目に○印がついている 「評価Ⅱ」は1項目でも×印がついている	